

GY-LS300CH ファームウェアアップデート(V0300)について

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。「取扱説明書」とあわせてお読みください。

ハイスピード撮影機能追加

滑らかなスローモーション映像を撮影することで、動きのある被写体を効果的に表現することができます。

- メニュー項目:[システム]に”High-Speed”を追加
[システム...]→[記録設定...]→[記録フォーマット...]→
[システム]に”High-Speed”を追加しました。

| システム | 形式 | 解像度 | フレームレート | ビットレート |
|------------|-----------|-----------|---------|----------------------|
| High-Speed | QuickTime | 1920x1080 | 120/60p | 50M(XHQ) 35M(UHQ) |
| | | | 100/50p | |
| | | | 120/30p | |
| | | | 60/30p | |
| | | | 100/25p | |
| | | | 50/25p | |
| | | | 120/24p | |
| 60/24p | | | | |

メモ:

- ・記録モードはノーマルに固定されます。
- ・High-Speed設定時は以下機能は使用できません。
ネットワーク、タイムスタンプ記録、フリッカー補正、
シェーディング、顔検出、WDR
- ・Bスロットの設定はAスロットと同じ設定値に固定されます。
- ・TCジェネレーター設定はRec RunとRegenのみ選択可能です。
- ・フレームレート設定より遅いシャッター設定はできません。
(例.120/60p設定時1/120~1/10000設定できます)
- ・画角がVariable Scan Mapping [46%]固定になります。
- ・通常の撮影時より感度が下がりますので、より美しい映像を撮影するために照明を準備できる環境下で使用していただくことをおすすめします。
- ・メディア残量(SDカードへの記録可能時間)表示が通常よりも早く減ります。
(例)120/60pの場合、通常よりも2倍の速度で記録しているため、約2倍の速さでメディア残量が減ります。

■使用できるSDカードについて

フォーマット設定と使用可能なSDカードの組み合わせ

| システム | 形式 | ビットレート | 使用可能なSDカード |
|------------|-------------|-------------|------------|
| High-Speed | QuickTime | 50M(XHQ) | UHS-I U3以上 |
| | | 35M(UHQ) | |
| C4K/4K | QuickTime | 150M | Class10以上 |
| C2K | | 70M | |
| | | 50M(YUV422) | |
| HD | | 50M(XHQ) | |
| | 50M(YUV422) | | |
| | 50M(XHQ) | | |
| | 35M(UHQ) | Class6以上 | |
| | AVCHD | - | Class4以上 |
| SD | - | - | - |
| Web | - | - | - |

バリアブルスキャンマッピング設定に46%を追加

High-Speed撮影時の固定画角46%を、通常撮影時の選択肢に追加しました。
通常撮影時も46%設定で撮影することで、High-Speed撮影時と同じ画角での撮影が可能です。

バリアブルゲインモードの追加

GAIN切換スイッチによる3dB刻みの切換に加えて、アイリスダイヤルによる細かな調節を可能にしました。

- メニュー項目:[アイリスダイヤル]に”バリアブルゲイン”を追加
[カメラ機能...]→[アイリスダイヤル]に”バリアブルゲイン”を追加しました。
追加に伴い、従来の選択肢”アイリス/シャッター/AEレベル”を”共用”に名称変更します。
”共用”を選択している場合、通常はアイリス操作ですが、バリアブルゲイン(USER SW割当)を押したあとはバリアブルゲイン操作、シャッターボタンを押したあとはシャッター操作、AEボタンを押したあとはAEレベル操作になり、操作後再度ボタンを押すことで設定値が決定し、アイリス操作に戻ります。

- メニュー項目:[USER1]~[USER10]、[LCDキー▲▼◀▶]に”バリアブルゲイン”を追加

[カメラ機能...]→[ユーザーボタン機能設定...]→
[USER1]~[USER10]、[LCDキー▲▼◀▶]に
”バリアブルゲイン”を追加しました。

メモ:

バリアブルゲイン状態の時に、GAIN切換スイッチを操作したり電源を切るとバリアブルゲインは解除され、GAIN切換スイッチに割り当てられたゲイン設定になります。

マニュアルアイリスモードの追加

マニュアルアイリス時の駆動に高速モードを追加。
アイリスダイヤルによるクイックな制御を可能にしました。

- メニュー項目:[マニュアルアイリスモード]を追加
[カメラ機能...]に[マニュアルアイリスモード]を追加しました。

静音:滑らかにアイリスを制御します(従来の動作)。
高速:高速でアイリスを制御します。使用するレンズによっては駆動音が発生します。
自動:記録中は「静音」、それ以外の場合は「高速」でアイリスを制御します。
[設定値:●静音、高速、自動]

[メモ]

使用するレンズによっては設定の効果が得られない場合があります。

”VSM”表記の変更

VSM表記をVariable Scan Mappingに、VSM-z表記をVRSM-zに変更しました。

ゼブラパターン設定に98%設定を追加

ノンリニアやPCでの再生上映や放送など、映像制作上ビデオレベルを100%以内におさえたい場合に便利な設定を追加しました。

■メニュー項目:ゼブラ[上限][下限]に”98%”を追加

[LCD/VF設定...]→[撮影補助...]→[ゼブラ]/[上限]
および[下限]項目で、明るさの上限値と下限値を指定する設定項目に98%を追加しました。

[上限][設定値:5%~●80%~95%、98%、100%、Over]

[下限][設定値:0%~●70%~95%、98%、100%]

LCDバックライトの明るさ改善

今までの”明るい”設定の約2倍の輝度設定を追加。視認性が向上し、より繊細なフォーカス合わせが可能になりました。

■メニュー項目:[LCDバックライト]の設定値追加

[LCD/VF設定...]→[LCDバックライト]の設定値を変更し、明るさを改善しました。数字が大きいほど、明るくなります。

[設定値:-1、●0、+1]

SMPTE 2022-1 FECに対応

ストリーミングタイプにMPEG2-TS/RTPを追加し、SMPTE 2022-1 FECに対応しました。
また、MPEG2-TS/TCPを削除しました。

■メニュー項目:[タイプ]に”MPEG2-TS/RTP”を追加

[システム...]→[ネットワーク]/[設定...]→[ライブストリーミング設定...]→[サーバー]/[ストリーミングサーバー...]→[Server1]~[Server4]→[タイプ]に”MPEG2-TS/RTP”を追加しました。

[設定値:●MPEG2-TS/UDP、MPEG2-TS/RTP、RTSP/RTP、ZIXI、RTMP]

■メニュー項目:[SMPTE 2022-1 FEC]を追加

[タイプ]項目が”MPEG2-TS/RTP”の時[SMPTE 2022-1 FEC]の設定が可能です。“入”に設定すると、FEC(前方誤り訂正)を使用します。損失パケットを再送することなく、デコーダー上の処理で損失パケットを回復できる伝送方式です。

[設定値:入、●切]

※デコーダー側がSMPTE 2022-1に対応している必要があります。

■メニュー項目:[FECマトリクス]を追加

SMPTE 2022-1設定時のFEC(前方誤り訂正)のオーバーヘッド量を設定します。

メモ:

[SMPTE 2022-1 FEC]項目が“入”の時のみ設定可能です。

送信先ポートは、

・[タイプ]項目が”MPEG2-TS/RTP”に設定の場合、2~65530までの偶数のみポート番号に設定可能です。

・[タイプ]項目を”MPEG2-TS/RTP”に設定し、[SMPTE 2022-1 FEC]項目を“入”に設定した場合、設定したポート番号(N)に加え、N+2 およびN+4 のポート番号も使用されます。

■FECマトリクスを設定する

SMPTE 2022-1設定時のFEC(前方誤り訂正)のオーバーヘッド量を設定します。

1. [システム...]→[ネットワーク]/[設定...]→[ライブストリーミング設定...]→[サーバー]/[ストリーミングサーバー...]→[Server1]~[Server4]→[FECマトリクス]項目を選択し、セットボタンを押すと、FEC調整画面が表示されます。

2. L値、D値を調整する

左右ボタンでLの値、上下ボタンでDの値を調整します。

L値、D値を変更すると、FECのオーバーヘッド量が変わります。
[C.REVIEW/4]ボタンを押すとL値、D値が初期値に戻ります。

メモ:設定範囲

・ $4 \leq L \leq 20$ (初期値:L=10)

・ $4 \leq D \leq 20$ (初期値:D=10)

・ $L \times D \leq 100$ (初期値:LxD=10x10)

3. セットボタン(●)を押す

ストリーミングサーバー設定画面に戻ります。



メモ:

・FECオーバーヘッド量が多いほどパケットロス耐性は向上しますが、より多くのネットワーク帯域を使用します。

・同じオーバーヘッド量であっても、L値が多いほどバーストロス(連続パケットロス)耐性が向上します。

ZIXIに高信頼性モード追加

ZIXIに高レイテンシ(高信頼性)モード追加しました。

■メニュー項目:[レイテンシ]に”高”を追加

ストリーミングタイプを”ZIXI”に設定した時、[システム...]→[ネットワーク]/[設定...]→[サーバー]/[ストリーミングサーバー...]→[Server1]~[Server4]→[レイテンシ]に”高”を追加しました。

ネットワークアダプタ対応

ネットワーク機能の実現のために、各種ネットワークアダプタに対応しておりますが、新たに富士ソフト株式会社製FS020Uに対応しました。